

ふくしまの未来に向けたみんなのアクション

THE FUKUSHIMA 2020 INFORMATION Vol.5

最新注目ニュース (2018.7~2018.12)

2019.2.26 (火) 発行

聖火リレーが福島からスタート！！
ルートは2019年夏頃公表予定！！

野球・ソフトボール競技が福島あづま球場で開幕！！
福島のソフトボール開幕戦でオリンピックがスタート！！



福島県のリレー日程
2020年3月26日 (木)
~3月28日 (土)



ソフトボール開幕戦
2020年7月22日 (水)



野球開幕戦
2020年7月29日 (水)

2年前イベントに野球・ソフトボール日本代表監督がやってきた！
東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議
& ふくしま大交流ミーティング【Tokyo 2020 2 Years to Go!】



(あづま球場で握手する両監督)



(パネルディスカッションの様子)

東京2020大会の2年前イベントとして福島市で開催された「ふくしま大交流ミーティング」に、野球日本代表の稲葉監督とソフトボール女子日本代表の宇津木監督がゲストとして参加しました。両監督は、イベントに先立って競技会場となるあづま球場を視察。パネルディスカッションでは「世界と戦うトップアスリートを目指して」をテーマに世界で戦うための極意や2020年への意気込みが語られ、参加した子どもたちは、両監督の言葉に真剣に耳を傾けていました。また、質問コーナーやサインボールのプレゼント抽選会、フォトセッションも行われ、イベントは大盛況のうちに幕を閉じました！

ルート選定が本格化
聖火リレーふくしま実行委員会を設立！

東京2020オリンピック聖火リレーに向けて、8月24日、東京2020オリンピック聖火リレー実行委員会が設立されました！実行委員会では、県内ルート選定の基本的な考え方や通過市町村の考え方等について協議されました。今後ルート案について組織委員会と協議し、IOCの承認を経て2019年夏頃公表される見込みです。聖火リレー全体の出発地にふさわしい聖火リレーとなるよう、しっかり準備を進めていきます！



(第1回実行委員会で挨拶する内堀知事)

<県内ルート選定の基本的な考え方>
被災地の現状を発信でき、かつ県内のバランスを重視しながら、復興五輪にふさわしい聖火リレーのスタートとなるようなルートを選定する。

<通過対象市町村の考え方>
・県内7方部
・津波被災地及び原発事故による避難地域
・オリンピックゆかりの市町村 など

7/28再始動！Jヴィレッジ！

東日本大震災以降、原発事故の収束拠点として使用されていたJヴィレッジが、7月28日に再始動しました。天然芝ピッチや、ビジネスホテル形式の新たな宿泊施設等が供用を開始したほか、9月にはサッカーグラウンド1面規模では国内初となる全天候型練習場も加わりました。

2019年4月20日 (土) には、復旧中となっていた天然芝ピッチ2面の供用も開始され、グラウンドオープンを迎える予定で、当日は、グラウンドオープンを記念したイベントも開催されます。今後、東京2020大会等での事前キャンプでの活用が期待されます。



(遂に再始動したJヴィレッジ)

東京2020組織委員会の理事会が開催される



(Jヴィレッジのピッチ上で森会長や内堀知事らが記念撮影)

まさに復興のシンボルとなったJヴィレッジで、一部再開直後の7月30日、東京2020組織委員会の理事会が開催されました。都外での理事会開催はこれが初めてとなります。理事会に先立っては、一部の出席者が小名浜魚市場で放射性物質自主検査の視察を行いました。また、内堀知事や岩手、宮城の副知事も交えた意見交換会も行われました。

東京2020マスコットがデビュー！Jヴィレッジのイベントで初来県！



(子どもたちと記念撮影するマスコット)

9月2日、Jヴィレッジで開催された県主催事業「ふくしまビッグスクラム2018」に、7月22日にデビューした東京2020マスコットのミライトフ、ソメイティがやってきました！

東京2020マスコットの来県は今回が初めてとなり、子どもたちが笑顔で握手や写真撮影を行いました。

東京2020マスコットはその後、10月27日に福島大学で開催された「復興オリンピックin福大祭」にも登場しました。今後も福島で行われる東京2020関連イベントに登場する予定です。

あづま球場の改修工事が遂にスタート！
IOCバツハ会長と安倍総理があづま球場を視察



(あづま球場完成予想図)



(球場で市内の小中学生と写真撮影するバツハ会長など)

11月、野球・ソフトボール競技会場となるあづま球場の改修工事がいよいよ始まりました。工事は2019年9月末までに完了予定で、改修後はグラウンドが天然芝から人工芝に生まれ変わるほか、バリアフリー化や老朽化したトイレ等の設備改善が図られます。

11月24日には、IOCバツハ会長や安倍総理などが改修工事が始まったばかりのあづま球場を視察に訪れました。これが初の来県となったバツハ会長は「球場を含めたあづま総合運動公園全体の雰囲気素晴らしい」と評価。「再びあづま球場を訪れる」と語りました。また、県内の高校球児とも懇談し、東日本大震災、そして原発事故による苦難を乗り越え野球に打ち込む球児の話に真剣に耳を傾けていました。

復興オリンピックにふさわしい会場となるよう、今後もしっかりと準備を進めていきます！

王貞治さんが福島県を訪問！！

2019年世界少年野球大会の本県開催について協力を要請

11月21日、一般財団法人世界少年野球推進財団理事長の王貞治さんが福島県知事を表敬訪問しました。

世界少年野球大会は、世界各国・地域の子どもたちが参加し、野球を通じて親交を深める大会で、過去28回の開催実績があります。

王理事長は、2019年の第29回大会を開催したい意向を知事に伝え、知事はこれに前向きな姿勢を示しました。また、王理事長はその後福島市長も訪問、市長も同様に前向きな姿勢を示しました。大会の開催は、2019年春以降、正式に決定される予定です。



PICK UP! 東京2020大会のボランティア、どんな活動をするの？

Field Cast

フィールドキャスト

大会ボランティア

競技会場や選手村などで大会運営にかかわる活動を行う

活動内容

- ・会場内等で観客や大会関係者を案内
- ・競技会場や練習会場内で競技運営のサポート
- ・大会関係者が会場間を移動する際のサポート
- ・外国語でのコミュニケーションで選手をサポート
- ・ユニフォーム配布やID発行などの運営サポート
- ・選手がけがをした際のヘルスケア
- ・大会関係者に通信機器の貸し出しや回収等のサポート
- ・メディアの取材サポート
- ・式典運営サポート など

必要人数

80,000人(募集終了、204,680人から応募がありました！)



City Cast

シティキャスト

都市ボランティア

観戦のため国内外から福島県を訪れるお客様へ「おもてなし」活動を行う

活動内容

- ・観光・交通案内
- ・福島県内の魅力PR
- ・高齢者や障がいのある方へのサポート
- ・県内ライブサイトの運営サポート など

活動場所

- ・福島あづま球場周辺
- ・福島駅、会津若松駅、郡山駅、いわき駅
- ・ライブサイト会場周辺(会津若松、いわき ほか)

必要人数

1,500人(2019年2月28日(木)まで募集)



福島市では独自の応援制度を設けています！！

2020ふくしま市民応援団

対象

- ・福島市にお住まいの方
- ・福島市に通学・通勤されている方
- ・福島市内で活動されている団体

活動内容

- ・できる範囲の活動
- ・地域の清掃活動、あいさつ運動
- ・オリパラ関連イベント参加、運営スタッフとしての協力 など

その他詳細は下記連絡先にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

福島市
オリンピック・パラリンピック
競技大会推進室
TEL:024-563-5660

ホストタウン交流

南相馬市×ジブチ、台湾

7月、南相馬市ではジブチ、台湾の子どもたちを相馬野馬追祭に招待し、また市内の子どもたちとサッカーを通じて交流しました。お正月には南相馬市の子どもたちが両国の子どもたちに年賀状を送るなど交流が続いています。



本宮市×イギリス

8月に本宮市の中学生が交流相手国のイギリスを訪問。オリンピック委員会のビルCEOを訪れ、ホストタウン交流事業として、イギリス選手の派遣や子どもたちの交流等でご協力いただくこととなりました。また11月にはビルCEOが本宮市を訪れ、市内の英国庭園などを視察。英国を訪問した生徒たちがビルCEOを出迎えました。



海外に福島をPR！！

県内外で開催された各種イベントで、福島県の魅力や野球・ソフトボール競技県内開催等を海外にPRしました！！

11/9世界水族館会議

県のPRブースに、コカ・コーラ教育・環境財団主催「英語コミュニケーションスキル研修プログラム」で英語を学んだ白河旭高校、あさか開成高校の生徒たちが参加。PR活動を行いました！



11/27-30ANOC総会

東京で行われたANOC総会に県内市町村と連携してブース出展し、各国オリンピック委員会関係者に福島県の合宿地等をPRしました！



12/7外務省飯倉公館レセプション

県、外務省が共催したレセプションに出展。出席した各国駐日外交官等にPR活動を行いました！県内市町村とのホストタウン交流も促進しました。



連携中！！福島県×楽天野球団



7月22日、会津坂下町の鶴沼球場で、未就学児を対象とした「ボールパークピクニック！」を開催し、楽天アカデミーコーチの指導のもと、親子野球教室を行いました(6月の相馬市、あづま球場に続く3回目の開催)。また9月9日、県内の子どもたちが「キッズアンバサダー」となり、楽天イーグルスのホーム戦で野球・ソフトボール競技県内開催をPRしました(7月8日に続き2回目の活動)。今後も引き続き楽天野球団と連携し、機運醸成や県内開催PRを行っていきます！

県内事前キャンプが続々決定(内定)！合宿が始まる！

田村市×ネパール

8月3日、田村市とネパールオリンピック委員会が事前キャンプ協定書を締結し、さっそく10月17日～24日の間、ネパールオリンピック代表選手(陸上競技)が田村市で事前合宿を行いました！



飯舘村×ラオス

ラオスオリンピック委員会の視察団が8月30日、同国の復興「ありがとう」ホストタウンである飯舘村を訪れ、パラリンピックの陸上、水泳の事前合宿地とする意向を示しました。

猪苗代町×ガーナ

12月2日、ガーナのホストタウンである猪苗代町が、ガーナオリンピック委員会と事前キャンプに関する協定書を締結しました。町総合体育館や町運動公園陸上競技場での入居を想定しています。

郡山市×ハンガリー

10月15～26日、ハンガリーの競泳代表チームが郡山市の「郡山市しんきん開成山プール」で合宿を行いました。両者は1月30日に事前キャンプに関する覚書を交わし、今後はホストタウン登録に向けた調整を行います。

会津若松市×タイ

タイのホストタウンである会津若松市で、12月3～8日、同国ボクシングチームと日本ボクシング連盟所属選手が合同トレーニングキャンプを実施しました。

COMING SOON!

東京2020大会500日前イベント

いわき市で、10種目ほどの競技体験をメインとしたイベントを開催します！概要は以下のとおり。アスリート等もゲスト出演します。詳細は近日公表しますので、お楽しみに！

- 日時 2019年3月24日(日) 10:00～15:00
- 会場 イオンモールいわき小名浜マリコート、アクアマリンパーク等

ウェブサイト「ふくしまプラス2020」への情報掲載について

福島県では、東京2020大会に向けた情報を発信するポータルサイト「ふくしまプラス2020」を開設していますので、ぜひ、ご覧ください！また、皆様の東京2020大会に向けた取組の中で、当サイトへ掲載を希望するイベント等がありましたら、随時、情報提供をよろしくお願いいたします。



「ふくしまプラス2020」

【発行日】平成31年2月26日

【発行所】東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議事務局
(県オリンピック・パラリンピック推進室内)

【お問合せ】

E-mail: fuku2020@pref.fukushima.lg.jp
電話: 024-521-7312